

抽選

入場
無料

平成28年度 第4回 都医学研

都民講座

高齢者のてんかんと認知症

～よく似た症状を見分け、正しい治療を受けるために～

日時

平成28年9月15日(木) 14:30～16:00

場所

一橋講堂 東京メトロ半蔵門線・都営三田線・都営新宿線 神保町駅徒歩4分
東京メトロ東西線 竹橋駅徒歩4分

東京都医学総合研究所 シナプス可塑性プロジェクト 主席研究員 島田 忠之

近年、高齢者がてんかんに発症する例が注目されています。しかし、その症状は「てんかん」という言葉から受ける印象とは異なる場合も多く、特に認知症との区別は専門的な知識が必要です。本講演ではてんかん専門医の渡辺先生・認知症専門医の塩崎先生の講演のイントロダクションもかねて、高齢者のてんかん症状についての簡単な紹介と、てんかん動物モデルにおける記憶障害などについても紹介いたします。

新宿神経クリニック 院長 渡辺 雅子

高齢で発症するてんかんは、血管障害や認知症に伴うものが約半分ですが、残りの半分はそれまで健康に暮らしていた高齢者にみられます。小児期発症のてんかんと異なり、けいれんを伴うことが少なく、症状も外見上軽微なため気づかれないことも多いです。一方、発作症状のみでなく、発作でないときに記憶障害を呈していたり、発作後の記憶障害も顕著であり、生活上の差し支えは大きいのが特徴です。発作は治療で消失しますので、今回、実際の症例の発作時ビデオをご覧いただき、高齢者てんかんの特徴の理解が進むようにしたいと思います。脳がある動物はすべててんかんに発症するおそれがあり、てんかんの知識はとても重要です。

横浜市総合保健医療センター 部長 塩崎 一昌

高齢者では、てんかんの発症率が上昇します。認知症診断のために物忘れ外来を訪れる高齢者は増加しており、その中にはてんかんと鑑別が必要な方や、てんかん性の病態を併せ持つ方が混在していると思われます。私どもの物忘れ外来では、脳波検査によりてんかんが疑われる患者さんは約5%おられました。そのような患者さんには、抗てんかん薬による治療可能性を先ず評価し、その後認知症診断を行うようにしています。本講演ではその過程における、抗てんかん薬の認知機能に対する治療効果を中心に紹介します。

定員

抽選で500名様

申込方法

事前申込制・往復ハガキにて(1通につき2名様まで)

〒156-8506 東京都世田谷区上北沢2-1-6 東京都医学総合研究所 事務局 研究推進課 普及広報係 住所、氏名(フリガナ)、参加希望人数、2名様希望の場合は同伴者氏名、電話番号(日中連絡先)を明記の上、「9月15日開催 第4回都民講座希望」の旨をご記入ください。 **申込締切: 9月12日(月) 消印有効**

※無効となる場合がありますので、記入漏れのないようご注意ください。

※要約筆記をご希望の方は、要約筆記がご覧いただける座席にご案内させていただきます。

応募にあたりまして、往復ハガキに「要約筆記希望」とご記入いただきますよう、お願いいたします。

問合せ先

事務局 研究推進課 普及広報係 TEL 03-5316-3109 FAX 03-5316-3150

主催

公益財団法人 東京都医学総合研究所 URL:<http://www.igakuken.or.jp>



公益財団法人
東京都医学総合研究所
Tokyo Metropolitan Institute of Medical Science

● 都医学研・都民講座の詳細は

都医学研 都民講座

検索

クリック!



← Twitter にて
都医学研のイベント情報公開中。
アクセスはこちら。

@igakuken でつぶやいています!